



ふたご通信

No.17

日頃より当組合の技能実習事業にご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。
さて、今月号は、二つの取り組みをご紹介します。

1つ目は、入国後講習の一環として日本の文化体験「豆まき」と「恵方巻」についてです。日本で生活し働く実習生にとって言葉や技能だけでなく日本の文化や風習を理解することは、円滑な職場生活や地域との調和にもつながる大切な学びです。当日は、楽しみながら鬼役の男子に思い切り豆を投げていました。日本の季節行事の意味を学ぶ有意義な時間となりました。

2つ目は作文コンクール優秀作品の掲載です。実習生一人ひとりが日本での経験や思い、将来への夢を真剣に綴ってくれました。この言葉には日々ご指導いただいている実習実施者の皆様の支えが随所に感じられます。実習生が前向きに努力を続けられているのは、皆様の支えがあってこそです。ともにその成長を喜び合えることを私も大変うれしく思っております。来月号にも掲載いたしますのでぜひご一読いただき実習生の成長を感じていただければ幸いです。

豆まき・恵方巻

邪気を追い払い、福を呼び込む豆まき。
そして、今年の恵方は「南南東」！願いを込めて無言で食べます。
日本の文化に触れ、楽しそうでした。
恵方巻がおいしくて、願い事がそっこのけじゃないか心配です（笑）

無言で食べるのは願い事を途切れさせないためなんですって！！（諸説あり）



鬼は外！福は内！



鬼退治だ！



入国後講習修了証授与式を行いました。
配属後も頑張ってください！

最優秀賞 「将来の夢」 入国日：2025年4月23日

私にはたくさんの夢があります。お金持ちになりたい夢、カッコよくなりたい夢、そして毎日早起きできる人になりたい夢もあります。でもいちばん大きな夢は両親にこの子でよかったと心から思ってもらうことです。

子どものころ、私は何も分かっていませんでした。正直に言うと、子どものころの私は「いい子」ではありませんでした。宿題は忘れるし、話は聞かないし、「明日やる」と言ってはやらないこともありました。私はたくさん失敗しました。何度も間違えました。前に進めない時もありました。

そのたびに、両親は何も言わず、ただ私の味方でいてくれました。怒りたい日もあったはずですが、泣きたい夜もなかったはずで、それでも両親は私の前では弱い顔を見せませんでした。大人になってやっと分かりました。その強さが、どれほど苦しかったかを。

ある日、両親の手を見ました。昔より、しわが増えていました。その手で私の人生を支えてくれたのだと思うと、胸がいっぱいになりました。「私は、まだ何も返していない」。その気持ちが心からはなれません。

だから今、私は毎日がんばっています。うまくいかない日もありますが、失敗して落ち込むこともあります。それでもあきらめないと決めています。なぜなら、両親の努力を無駄にしたくないからです。

その時から私は世界を違う見方で見たいと思っています。人の悪いところより、いいところを見られる人になりたいです。つらいことがあっても、前向きに考え、「きっと意味がある」と信じたいです。私が笑えば、まわりの人も少し幸せになるかもしれません。そんな小さな幸せをたくさん作りたいです。

過去は変えられません。でもこれからの自分は変えられます。将来、私は人の気持ちを大切にできる人になりたいです。まわりの人が笑顔で、幸せに生きられるよう手助けができる人になりたいです。

過去は変えられません。だから私は、自分の間違いから逃げずに、学ぶことを選びました。失敗した経験は、私を弱くしたのではなく、人の気持ちが分かる人に近づけたと思っています。今の私は毎日少しずつでも成長できるように努力しています。

いつか、両親が誰かにこう言ってくれたら、私は泣いてしまうと思います。「うちの子、昔は本当に大変だったんですよ。でも今はがんばっています。」その一言のために努力しています。失敗だらけの私ですが夢は本気です。両親を安心させ、ほこりに思ってもらえる人になること。それが私の一番の夢です。

い	つ	か	、	両	親	が	誰	か	と	こ	う	言	っ	て	く	れ	た	ら	私	
は	泣	い	て	し	ま	う	と	思	い	ま	す	。	「	う	ち	の	こ	、	昔	は
は	本	当	と	大	変	だ	っ	た	ん	で	す	。	で	も	今	は	が	ん		
ば	っ	て	い	ま	す	。	そ	の	一	言	の	た	め	に	努	力	し	て	い	
ま	す	。失	敗	だ	ら	け	の	私	で	す	が	夢	は	本	気	で	す	。両		
親	を	安	心	さ	せ	、	ほ	こ	り	に	思	っ	て	も	ら	え	る	人	と	
な	る	こ	と	。も	ち	が	私	の	一	番	の	夢	で	す	。					

審査員のコメント

「将来の夢」は、ご両親に自慢の子供だと
言ってもらえること。読み手の心に響き、
ご両親への尊敬や感謝が十分に伝わり、と
ても心のこもった素敵な作文でした。

「ふたご協同組合伝言板」

ふたご通信をご覧いただき、誠にありがとうございます。今年にはふたご通信の発行回数を増やし、外国人受け入れにおける様々なことを記事にし、お届けしていきたいと考えております。
各企業様の枠を越え、また、業種の枠を越えることにより受け入れた外国人に対して頭を抱えていることを少しでも解決できるようなものやそれぞれの企業様のPRになることも掲載し、お力になれたらと考えています。
記事を書く上で、ご協力いただくことがあるかと思いますが、その際にはよろしく願いいたします。
次回の作文は優秀賞の作品をお届けします。

ふたご通信第17号 2026年2月発行
発行元 ふたご協同組合
所在地 北名古屋市九之坪梅田68番地1
電話 0568-65-6071
FAX 0568-65-6073
WEB www.futago-coop.org
※当組合のホームページは →
(リニューアル中のため、更新までしばらくお待ちください。)